

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

謙虚なTさん

寒風が身に染みる季節となりました。私が居ります松山市北条地区は昔、風早村と地名がついていたくらい風が強い所です。特に、冬の季節になりますと北風が強く、寺の境内にある大きな松が「ピュー、ピュー」と鳴り余計に寒く感じます。そんな厳冬の中でも毎朝境内のお掃除と庭木や花の手入れをしてくださるご夫婦がいらつしやいます。

このTさんご夫妻、雨の日以外はほぼ毎朝七時頃から境内と墓地を箒で掃き、庭木や花に一通り水をやった後、奥様は本堂にお参りして朝食の準備の為に先に帰られ、ご主人は境内の花の手入れをしてから帰られます。

ご主人が現在八十六歳、奥様が八十一歳、八年ほど前からこんな朝が続いています。ご主人のTさんは国鉄に永く勤めておられましたが、民営化に伴い早期退職をしてご自宅近くの大学の校務員として定年まで過ごされました。その校務員時代に樹木や花の栽培を経験されておられたことから、境内の植木や花の手入れをお願いしたところ、快く引き受けて頂き今に至っています。

このTさん、当寺の境内に限らず、近くの海岸の清掃もたったお一人でされています。もちろんボランティアです。本当に頭が下がります。

季節毎に花を植え替えて頂いていますので、参拝者から「法然寺さんはいつもお花がたくさん咲いていて、お掃除も行き届き綺麗ですね」とお褒めの言葉を沢山頂きます。その都度毎にTさんのおかけとお話しますが、寺の恒例行事や役員会などに出席されるTさんご自身から「あれはわしがやっとなるんや」とはお話にはなりません。普通なら「わしが」となるところを何にも言わないTさんに「わしが掃除しとるんよ、わしが花を育てとるんよ」となぜ仰らないのか聞いてみたことがあります。答えは「好きでやっとなるだけやで」でした。

本当に謙虚なTさん。一日でも長くご健在で、一輪でも多く花を育てて頂きたいものです。

花は一瞬にして

咲かない。

大木も一瞬にして

大きくはならない。

一日一夜の積み重ねの上に

その栄光を示すのである。

(坂村真民の名言)



竜雲学園法人全体研修について

特養 介護主任 氏家 宏子



竜雲学園では法人職員全員を対象に毎年研修を行っております。今年度は11月に選択研修、12月に事例報告会を行いました。

選択研修では「モチベーション」「メンタルヘルス」「レクリエーション」の内容で介護労働安定センターより講師をお招きし、専門的なお話を聴くことができました。

事例報告会では毎年法人内の3つの施設が、日々行っている支援や介護等を客観的に見つけ、レベルアップにつなげることを目的とし発表を行っています。今年度はケアマネジャー松原とワーカー上原が特養の代表として「看取りケアく生活の場で最期を迎えるく」を発表しました。他施設の取り組みや自施設の取り組みを振り返る良い機会となりました。



苑内行事



ボラえもん様来訪



園児からの贈り物



カナン保育園来訪



仏生山小学校5年団来訪



大窪寺へ紅葉見物

シェイクアウト



11月1日 水曜日
「シェイクアウト」訓練と
連絡訓練を実施しました。

社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム
短期入所サービス
通所介護サービス
認知症型通所サービス
訪問介護サービス
老人介護支援センター
ケアハウス

〒761-8078
高松市仏生山町甲 3100 番地 2
TEL:087-888-5800
FAX:087-889-1004

ほのぼの作品展

毎年恒例の「ほのぼの作品展」を10月30日～11月5日に開催しました。今年

は写真部門を新たに作り写真を中心として手芸品や絵画、俳句など幅広い芸術作品を利用者様や職員から多数ご出展頂きました。中にはユーモラスな作品もあり出展者の意外な感性や個性を楽しむことができました。

ここで投票により1位になった作品を部門ごとに御紹介させていただきます。

※写真部門風景1位の作品「津田の朝日」は来月の表紙で掲載します。



チーム部門 1位
「パステルで紅葉」



個人部門 1位
「うさぎ雛」



写真部門人物 1位
「あっちいこう」

